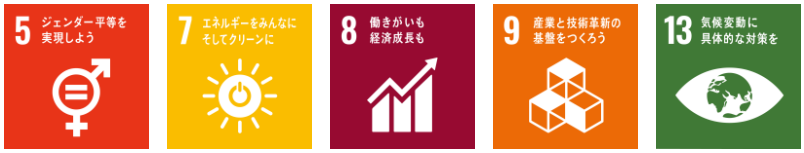


２０２５年３月３１日

株式会社あいち銀行

福玉精穀倉庫株式会社との
ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

株式会社あいち銀行（頭取　伊藤 行記）は、福玉精穀倉庫株式会社（本社　愛知県丹羽郡大口町、代表取締役社長　社本 光永）と、ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約を締結しましたのでお知らせいたします。

当行はこれからも、お客さまの多様化する資金調達ニーズに応え、ＳＤＧｓの趣旨に賛同するお客さまとともに、持続可能な社会づくりを目指してまいります。

記

１．融資概要

契約締結日	２０２５年３月３１日（月）
融 資 金 額	５００百万円
融 資 期 間	５年
資 金 使 途	運転資金

２．福玉精穀倉庫株式会社の概要

本社所在地	愛知県丹羽郡大口町御供所一丁目６５番地
代　表　者	社本 光永
事 業 内 容	倉庫業
設　　立	１９４８年

３．特定されたインパクトと測定するＫＰＩ（2030 年に向けた目標）

（１）倉庫にプラスアルファの機能を持たせた「活きた倉庫」をより多くのお客様に
①2030 年 11 月期までに所有倉庫の営業総面積を 10%増加させる （2024 年 11 月期実績：17.4 万坪）
（２）環境保全の推進
①2030 年 11 月期までに太陽光発電設備による発電容量を 3.5 メガワットまで高める （2024 年 11 月期実績：2.5 メガワット）
（３）ダイバーシティとワークライフバランスの推進
①2030 年 11 月期までに従業員の 5 年間定着率を 65%まで向上させる （2024 年 11 月期実績：55%） ②2030 年 11 月期までに従業員の残業時間を 17 時間／月に削減する （2024 年 11 月期実績：21 時間／月） ③2030 年 11 月期までに従業員の有給休暇取得率を 60%まで向上させる （2024 年 11 月期実績：47%） ④2030 年 11 月期までに産休・育休取得率を 100%にする （2024 年 11 月期実績：86%） ⑤2030 年 11 月期までに役職者に占める女性割合を 20%まで高める （2024 年 11 月期実績：13%）

４．ポジティブ・インパクト・ファイナンスについて

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取組みに対して目標（以下、「ＫＰＩ」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取組みを継続的に支援いたします。

ＫＰＩの達成に向けて取り組む過程を対外的に発信することで、お客さまの社会的評価の向上が期待されます。

本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します（※1）。

（※１）当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（Ｒ＆Ｉ）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（ＵＮＥＰ ＦＩ）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（ＰＩＦ原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。

以　上

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」評価書

～福玉精穀倉庫株式会社～

2025 年 3 月 31 日

株式会社あいち銀行
営業企画部
ファイナンス戦略グループ

目次

はじめに 2
１．企業概要 2
①会社概要 2
②沿革 3
③許可・認証取得一覧 4
④ビジネスモデル図 5
⑤経営理念 6
２．事業内容 8
３．地域の課題解決に向けた取り組み 10
①愛知県の指標 10
②福玉精穀倉庫株式会社の取り組み 11
４．インパクトの特定 15
①インパクトマッピングによるインパクト分布 15
②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ） 15
③国内のインパクトニーズ 18
④特定したインパクトに対する株式会社あいち銀行およびあいちフィナンシャルグループの方向性との確認 19
５．測定する KPI 20
①「活きた倉庫」をより多くのお客様に 20
②地球環境の保全推進 20
③ダイバーシティとワークライフバランスの推進 21
６．インパクトの管理体制 22
７．モニタリング方法 22
８．総括 22

はじめに

株式会社あいち銀行は、福玉精穀倉庫株式会社の事業が「環境」・「社会」・「経済」に与えるインパクトを分析・評価し、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、PIF）」を実行した。

なお、株式会社あいち銀行は、国連環境計画・金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」、及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、福玉精穀倉庫株式会社の事業活動を分析・評価し KPI を設定した。

<融資条件概要>

融資形態	証書貸付
融資金額	500,000,000 円
資金使途	運転資金
融資期間	5 年

１．企業概要

①会社概要

会社名	福玉精穀倉庫株式会社
創業年	1874 年
設立年	1948 年
資本金	8,370 万円
代表取締役社長	社本　光永
事業内容	倉庫業
本社所在地	愛知県丹羽郡大口町御供所 1-65
従業員数	36 名（2024 年 11 月 30 日現在）
売上高	3,911 百万円（2024 年 11 月期）
決算日	11 月 30 日

【社章】

②沿革

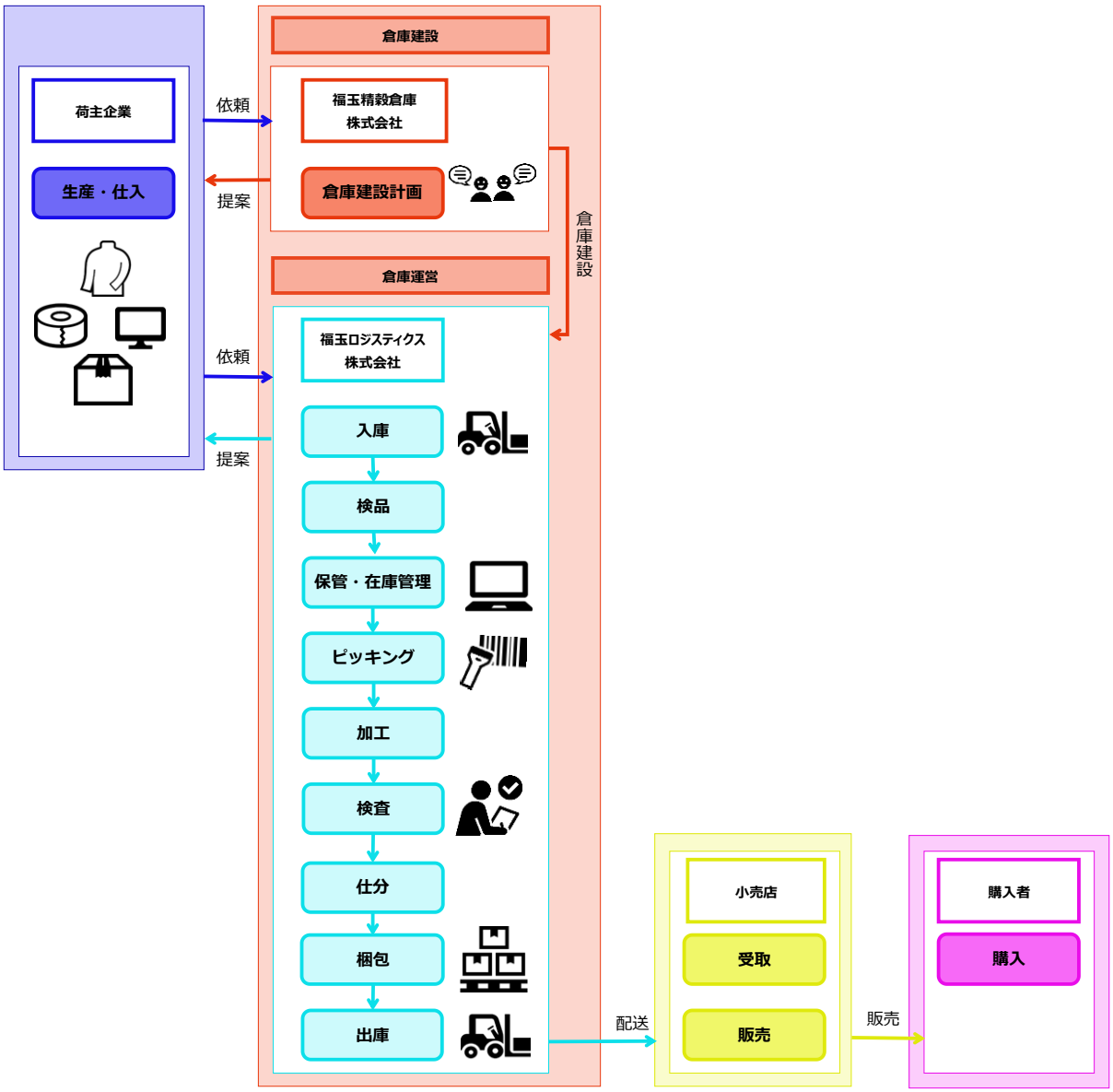
年	概要
1874 年	・社本九平が水車による精米、精麦、製粉、製麺業を開業
1948 年	・「福玉株式会社」を設立 ・「福玉精麦株式会社」を設立
1951 年	・愛知県名古屋市中川区に倉庫を建設し、倉庫業を開業、「名古屋営業所」を開設 ・社名を「福玉精麦倉庫株式会社」に改名
1957 年	・福玉米粒麦の製造開始 ・「福玉米粒麦株式会社」を設立
1959 年	・ビタフク（ビタバレー）が厚生省（当時）特殊栄養食品として許可を受ける
1962 年	・米穀の他用途向き加工を開始 ・社名を「福玉精穀倉庫株式会社」に変更
1963 年	・全国穀類飼料工業協同組合の加工工場の指定を受ける
1965 年	・第 1 回優良申告法人の表敬を受け現在に至る
1968 年	・愛知県岩倉市八剱町に「岩倉倉庫」を建設、「岩倉営業所」を開設
1970 年	・愛知県名古屋市熱田区に「熱田営業所」を開設
1975 年	・愛知県小牧市の小牧トラックターミナル内に「ターミナル倉庫」を建設、「ターミナル営業所」を開設。 ・「ビタフク販売株式会社」を設立、精穀部販売部を分離独立 ・「有限会社大口荷役」を設立、荷役部門を分離独立
1977 年	・愛知県海部郡飛島村に「名港西四区倉庫」を建設、「名港営業所」を開設
1980 年	・石川県金沢市に「金沢営業所」を開設 ・愛知県小牧市村中に「村中倉庫 B 棟」を建設
1986 年	・愛知県小牧市三ツ渕に「三ツ渕倉庫」を建設、「小牧営業所」を開設
1988 年	・「岩倉営業所」の倉庫増築
1990 年	・愛知県小牧市村中に「村中倉庫 A 棟」を建設、「村中営業所」を開設
1992 年	・愛知県一宮市に「一宮千秋倉庫」を建設
1993 年	・愛知県小牧市横内に「横内倉庫」を建設
1994 年	・新社屋完成
1995 年	・愛知県名古屋市中川区に「広川倉庫」を建設
1997 年	・愛知県丹羽郡大口町に「矢戸川倉庫」を建設
1999 年	・長野県長野市に「長野倉庫」を建設
2000 年	・「矢戸川倉庫」の倉庫増築

2001 年	・愛知県丹羽郡大口町に本社工場　焙煎及び包装工場建設
2002 年	・愛知県丹羽郡大口町に本社第二工場建設 ・愛知県小牧市三ツ渕に「三ツ渕西倉庫」を建設
2004 年	・「江南包装工場」増築
2005 年	・愛知県大口町御供所に「御供所倉庫」を建設、「御供所営業所」を開設
2006 年	・有限会社大口荷役を「福玉ロジスティクス株式会社」に商号変更
2007 年	・愛知県名古屋市中川区に「名古屋堀留倉庫」を建設
2009 年	・「本社大口包装工場」を増設
2010 年	・「三ツ渕西倉庫」を増築し、「三ツ渕西営業所」を開設 ・愛知県小牧市の小牧トラックターミナル内に「ターミナル東倉庫」を開設 ・三重県津市に「津出張所」開設
2011 年	・愛知県小牧市横内に「横内営業所」を開設
2013 年	・本社に「修学館」増設 ・愛知県春日井市に「春日井センター」を開設 ・愛知県瀬戸市に「瀬戸出張所」を開設 ・大阪府四条畷市に「近畿センター」を開設
2015 年	・「本社工場」増設
2016 年	・愛知県小牧市入鹿に「入鹿倉庫」を建設 ・本社第二工場　増築
2020 年	・愛知県大口町御供所に「御供東倉庫」を建設 ・愛知県江南市に「江南定温倉庫」「梱包工場」「南事務所」を増築
2023 年	・愛知県大口町御供所に「御供所南倉庫」を建設

③許可・認証取得一覧

取得年度	認可・認証名	取得部署
2001 年	ISO9001	村中営業所
2003 年	ISO14001	村中営業所
2003 年	ISO14001	焙煎工場・包装工場
2005 年	ISO9001	焙煎工場・包装工場
2012 年	ISO9001	小牧営業所
2012 年	ISO14001	小牧営業所
2023 年	FSSC22000	焙煎工場・包装工場 （全工場にて FSSC22000 認証取得）

④ビジネスモデル図


荷主企業
生産・仕入
依頼
提案
依頼
提案
倉庫建設
福玉精穀倉庫
株式会社
倉庫建設計画
倉庫運営
福玉ロジスティクス
株式会社
入庫
検品
保管・在庫管理
ピッキング
加工
検査
仕分
梱包
出庫
倉庫建設
配送
小売店
受取
販売
販売
購入者
購入

⑤経営理念

会社理念

報恩感謝

我が社の事業は、五条川の流れを利用して始まりました。
地域、お客様、社員、皆様のおかげで、精穀業・倉庫業は留まることなく拡大してきました。
これからも、先人の教えを受け継いで、社員一致団結して、授かった仕事を一生懸命に行なって、受けた御恩を社会に還元していきます。

社訓

熱と努力と誠意

熱とは　　決断力と実行力であり、何事も強い気持ちを持ってやり遂げること。
努力とは　　当たり前のことを大切に行い現状に満足せず、日々精進すること。
誠意とは　　人との繋がりを大切にし、素直な心と感謝の気持ちで社会に御恩を還すこと。

福玉 社員心得

1．私達は、チームワークを大切にします。
2．私達は、約束・ルールを守ります。
3．私達は、向上心をもって行動します。
4．私達は、清潔感と笑顔を持って接します。
5．私達は、素直な気持ちで謙虚に取り組みます。
6．私達は、情熱や信念を持って取り組みます。
7．私達は、先輩を敬い、後輩を育てます。
8．私達は、お客様や地域社会への感謝の気持ちを忘れません。

～社長メッセージ～

私ども福玉の歩みは、150 年という「時の流れ」の物語です。そしてそれはまた、事業を生み育ててくれた「川の流れ」と、その上にさらなる発展を積み重ねてくれた「物の流れ」の物語でもあります。

肥沃な濃尾平野を貫いて伊勢湾に注ぐ五条川の流れ、それが物語の最初の舞台でした。この川の恵みがもたらす豊かな穀物の実りを、流れが生み出す水力を利用して加工しようと、明治 7 年（1874 年）に私の祖先が建てたささやかな水車工場が当社の起こりだったのです。

爾来、明治・大正・昭和・平成・令和の 5 代にわたり様々な激動を乗り越えて、麦を中心とした精穀業は発展してきました。当初、近在の農家の方々を対象としていた賃加工は、やがて一般消費層に販路を広げ、これと共に設備の近代化を図りつつ、逐次新しい製品を市場に送り出していったのです。健康食品として見直されている押麦、白麦、米粒麦などの精麦食品、伝統的な遠赤焙煎で独自の風味を誇る麦茶、さらに乾麺、米粉、飼料麦がラインナップ。とくに栄養価の高く独特の触感が人気のもち麦や、長年培われてきた技術を活かして麦茶焙煎だけではなく、はと麦やトウモロコシ焙煎などお客様から高い評価を得ています。

さらに、この精穀業で育まれた原料・製品の保管、管理のノウハウは、戦後の昭和 26 年（1951 年）に進出した倉庫業に生かされ、「物流」という、新しい大きなシステムの中で当社の発展を加速させました。名古屋・堀留の一角で産声をあげた 411 坪の小さな倉庫は、半世紀あまり後の今日、愛知県を中心とする中部地方に広大なネットワークを展開する計 18 万坪以上の倉庫群に成長しています。しかも、単なる商品保管のための倉庫から、在庫管理、流通加工、品質検査、受発注から配送業務などの多機能をシステマティックに備えた、時代の先端を行く物流拠点に変容してきました。

時代と共にめまぐるしく変化し続ける物流システム、多様化するお客様のニーズに当社は全力をあげて応えてきました。幸いお客様の厚い信頼を得たことで築かれた倉庫のネットワークは、そうした努力の結果と自負しています。

今後物流改革はさらに進み、物流の DX 化に対応した設備やサービスが倉庫のスタンダードになっていくことでしょう。当社では、従来の倉庫からロジスティクスセンターへのリニューアルをはじめ、ユニシャトルやクロスベルトソーターなどの最新自動化機器の導入を進めてまいりました。今、お客様に何を求められているのか、何を提供することができるのかを第一に考え、より深みを増した倉庫へと進化していけるよう、会社一丸となって邁進したいと思っております。郷土の母なる川、五条川が大海めざし、たゆみなく流れる姿は、それすなわち明日に向かって限りない前進を続ける福玉の姿そのものなのです。

代表取締役社長　**社本　光永**

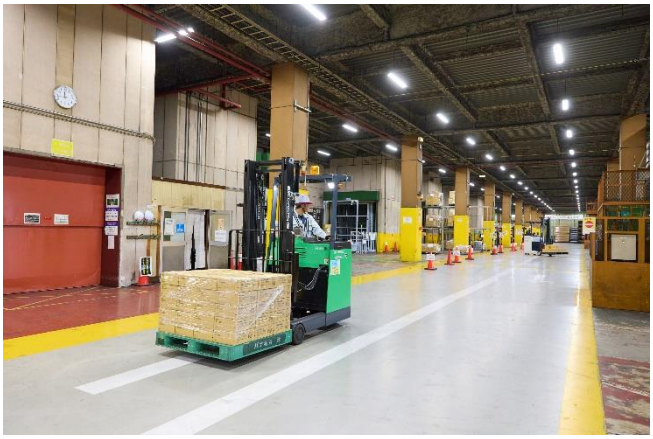
２．事業内容

倉庫事業

倉庫の利用方法は、荷主の業種により、物の大きさ・量・在庫の出荷状況など多様であり、倉庫内で求められる、物・人の動線・対応状況も多様である。倉庫の企画・運営方法・作業設計も含めて荷主に提案を行っている。

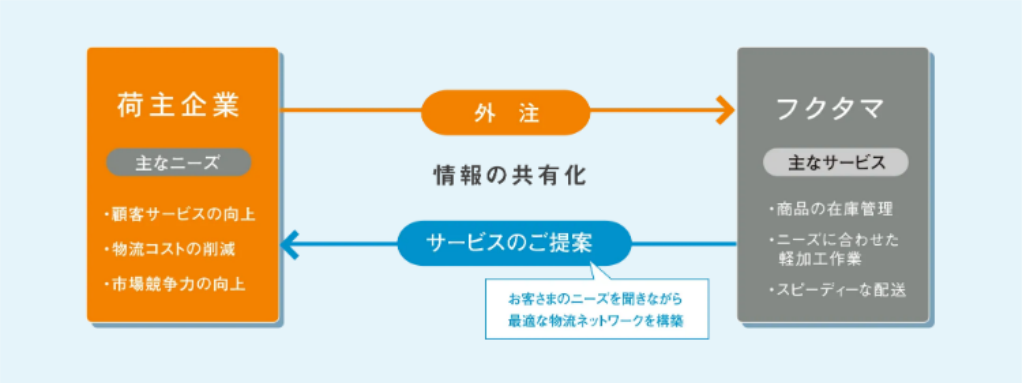
「3ＰＬ（Third（3rd）Party Logistics）」として提案している内容

【倉庫内部】



- **物流の効率化**
  デジタルピッキングシステムなどの設備により出荷作業が簡潔化され、効率的で迅速に商品を届けることができる。
- **在庫、発注、販売管理などの情報をネットワークで管理**
  在庫商品の把握や売れ筋商品の傾向が一目でわかる。
- **値札付けやセットアップなどの多様な軽加工**
  出荷元及び小売店での加工が不要となりコスト削減及び物流効率に貢献できる。

【3PL（Third（3rd）Party Logistics）の対応】



昨今の地震や自然災害に対して BCP（Business Continuity Plan）の観点から、倉庫拠点を分散させ災害時のリスクを低減させる倉庫運営を行っている。また台風などにより停電したときに備え非常用電源を各営業所に設置している

【デジタルピッキングシステム】

３．地域の課題解決に向けた取り組み

①愛知県の指標

福玉精穀倉庫株式会社は、愛知県丹羽郡大口町に本社を構え、愛知県を中心に事業展開している。

愛知県においては、リニア中央新幹線が全線開業しスーパー・メガリージョンの形成が期待される 2040 年頃を展望し、2030 年度までに重点的に取り組むべき政策の方向性を示す「あいちビジョン 2030」を 2020 年 11 月に策定した。2030 年度に向けた基本目標として「暮らし」、「経済」、「環境」の指標に加え、SDGs に関連する目標として「重要政策の方向性」を掲げている。

<重要政策の方向性>（一部抜粋）

重要政策の方向性	主要な政策の方向性	内容等
すべての人が生涯にわたって活躍できる社会づくり	◆女性の活躍促進 ・活躍の場の拡大と職場定着の促進	・女性をはじめとした様々な主体の参画 ・働く場での女性の活躍拡大
豊かな時間を生み出す働き方が可能な社会づくり	◆新技術を活用した効率的な働き方の促進 ・省力化や無人化の促進 ・移動の効率性向上	・労働時間の短縮や生産性の向上 ・職場の省力化や無人化を促進 ・MaaS や自動運転の社会実装を推進 ・移動時間の最適化や効率的な活用
イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり	◆次世代産業の振興 ・自動車産業の振興 ・戦略的な産業集積の促進	・CASE、MaaS 等自動車産業の変革期をリード ・EV、PHV 等次世代自動車の更なる普及拡大 ・長年県内に立地している企業の再投資 ・産業集積や投資を促進
持続可能な地域づくり	◆脱炭素社会を見据えた地球温暖化対策の推進 ・再生可能エネルギー等の導入拡大と地産地消の推進 ・環境・新エネルギー産業の振興とESG 投資の呼び込み ・廃棄物の適正処理に向けた取組	・再生可能エネルギーの主力電源化 ・太陽エネルギーの更なる活用 ・グリーン購入の促進 ・省エネルギー設備の導入 ・再生可能エネルギーの利用 ・プラスチックごみへの対策 ・製造、流通、使用、廃棄における３R

②福玉精穀倉庫株式会社の取り組み

I.　従業員の働きやすい職場環境の整備

◆　QC（Quality Control）サークル活動

倉庫管理・倉庫作業を行う上で品質管理の改善、入出荷作業の質の向上、安全な作業環境作りは取引先・依頼人へより良い製品を提供するためにも重要である。福玉精穀倉庫株式会社は「QC（Quality Control）活動」を展開し意識的に改善活動を行っている。社内の QC サークル指導士の有資格者による若手社員向けの勉強会や講習会を行い品質向上の意識を高めている。また、日々の業務も質の良い出荷環境の構築を意識し、効果的な改善には社内で優秀改善表彰を行っている。

ＱＣサークル活動としてグループを作り、業務のデジタル化や作業標準書の見直しなど、改善活動を複数人で協力して行い発表する活動も行っている。サークル活動には協力会社も参加し活動を広めている。

【ＱＣサークル活動報告】

◆　人材育成活動

「経営革新力開発研修」、「中堅社員研修」、「執務社員研修」など若手から管理職まで様々な環境・立場の人に向けて計画的に研修を実施している。また、それぞれの専門職にあわせて研修・資格取得の支援を行っている。

【研修会】

◆　**柔軟な勤務体制**

福玉精穀倉庫株式会社には、働きながら野球やサッカーのクラブチームに在籍している社員がいる。練習と仕事が両立できるよう出勤日・勤務時間の調整を行っている。社員として勤務することにより将来を安心して勤めることができる。

また、働きながら出産・育児ができるよう男女問わず、産休・育休が取得できるように体制を整えている。

◆　**「あいち女性輝きカンパニー」認定**

「あいち女性輝きカンパニー」、「あいち女性の活躍プロモーションリーダー」（愛知県）に認定されている。女性が働きやすい職場になるよう目標をもって取り組んでいる。

【活動風景】

◆　**「健康経営優良法人」登録**

2022 年 3 月に、「日本健康会議」が認定している「健康経営優良法人 2022」（中小規模法人部門）に認定されている。

II.　環境面への配慮

◆　太陽光発電システムの設置

2013 年 2 月より、本社「修学館」の建設から太陽光発電設備の設置を行っている。現在は 8 つの営業所で稼働しており、会社全体で約 2.5 メガワットの発電設備を保有している。

太陽光発電システム稼働状況		
開始時期	場所	2024 年度発電量
2013 年 2 月	本社修学館	17.50mWh
2014 年 3 月	村中倉庫	428.10mWh
2014 年 3 月	御供所倉庫	655.19mWh
2015 年 3 月	三ツ渕西倉庫	310.03mWh
2015 年 4 月	焙煎工場	33.78mWh
2016 年 9 月	入鹿倉庫	972.80mWh
2020 年 9 月	御供所東倉庫	361.32mWh
2023 年 11 月	御供所南倉庫	355.44mWh

【太陽光発電設備】

◆　高効率照明の取付け

2007 年より倉庫内の照明器具を「高効率照明（高周波点灯専用【High Frequency】形の蛍光灯（H f 蛍光灯)、LED 照明など)」の器具に切り替えている。切り替えることにより、二酸化炭素排出量を削減している。

高効率照明　設置倉庫		
年度	設置場所	設置照明
2007 年	村中倉庫、岩倉倉庫	H f 蛍光灯
2008 年	ターミナル中倉庫	H f 蛍光灯

2009 年	一宮千秋倉庫、ターミナル南倉庫	Ｈｆ蛍光灯
2011 年	矢戸川倉庫	Ｈｆ蛍光灯
2012 年	三ツ渕倉庫、元町倉庫	Ｈｆ蛍光灯
2013 年	西之島倉庫	Ｈｆ蛍光灯
2014 年	三ツ渕西営業所、尾北倉庫	LED 照明
2015 年	横内倉庫	LED 照明
2016 年	小針倉庫	LED 照明
2017 年	御供所倉庫	LED 照明
2019 年	広川第一倉庫	LED 照明
2020 年	ターミナル南倉庫	LED 照明
2023 年	村中倉庫、名港西四区倉庫	LED 照明
2024 年	岩倉倉庫、犬山工業団地第一倉庫、 一宮千秋倉庫	LED 照明

III. 地域社会への貢献

◆　五条川の清掃活動

本社近くには、一級河川「五条川」が流れている。「五条川」は桜の名所として知られ、河岸には美しい桜並木の景色がひろがる。福玉精穀倉庫株式会社の従業員は地域の方々と協力して河川の清掃活動を行っている。

４．インパクトの特定

①インパクトマッピングによるインパクト分布

株式会社あいち銀行は事業性評価の分析により福玉精穀倉庫株式会社の主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。分布図中の「赤色」は重要な影響があるカテゴリ、「黄色」は影響があるカテゴリを示す。福玉精穀倉庫株式会社の事業活動を通じて関与できるカテゴリに限定して影響を検討する。当社の事業は川上の事業に関与できる部分が少ないため、川上の事業のインパクト掲載は省略する。

②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ）

【当社における事業のインパクト】

◆当社の事業

	倉庫･保管業（5210）	
	ポジティブ	ネガティブ
水(可用性)		
食料		
住居		
健康･衛生		
教育		
雇用		
エネルギー		
移動手段（モビリティ）		
情報		
文化･伝統		
人格と人の安全保障		
正義･公正		
強固な制度･平和･安定		
水(品質)		
大気		
土壌		
生物多様性と生態系サービス		
資源効率･安全性		
気候		
廃棄物		
包括的で健全な経済		
経済収束		

【当社における事業のインパクト】
ポジティブインパクト：「雇用」「エネルギー」「包括的で健全な経済」
ネガティブインパクト：「雇用」「エネルギー」「大気」「気候」

「雇用」に関して、外部講師を招き各階層に応じた研修を計画的に実施、社内で推奨する資格取得の支援を行っており、豊富なスキルアップの機会を提供している。また、健康経営優良法人、あいち女性輝きカンパニーの認定取得を行っており従業員の福利厚生に力を入れている。更なるインパクトの発現のため、産休・育休取得率および役職者に占める女性割合の向上を KPI に掲げる。健康面と安全面においてネガティブインパクトが懸念されるが、業務のデジタル化や作業標準書の見直しを行い、作業の省力化を図ることで従業員の負担を減らし、労働災害が起こるリスクを低減している。また、フォークリフトに前進・後進時のブザーやセンサーライト、爪の水平チェッカーといった機能を追加する、看板や標識を設置し危険箇所の周知徹底に努めるなど、様々な安全対策を行っており、従業員全員が安全に作業できる現場づくりに取り組んでいる。

「包括的で健全な経済」に関して、当社は、商品の組付けやセットアップ、値札付けなど倉庫の付加価値を高めるプラスαの機能を持たせることで「活きた倉庫」を物流サービスの中核にしている。安心・安全を最優先に、物流サービスを通じて電化製品や生活雑貨など身近な商品を取り扱っており、人々の暮らしや経済を支えている。所管倉庫の営業総面積の拡大を KPI に掲げ更なるインパクトの発現を目指す。

「大気」「気候」に関して、ネガティブインパクトが懸念される。当社の取り組みとして、照明器具の LED への切り替えによる電力消費量の削減、荷役に使用するフォークリフトをガソリンタイプ・ディーゼルタイプからバッテリー駆動の電気タイプに代替し環境負担の少ないエネルギーを使用することで大気汚染への影響を軽減するとともに CO_2排出量の削減を実現している。2013 年 2 月からは太陽光発電設備の設置を開始。自社利用と売電を行っている。現在 2.5 メガワットであるが、3.5 メガワットへ増加させる KPI を掲げており、「エネルギー」に関して、倉庫業としてインパクトは特定されていないものの、ポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの縮小が期待できる。

【当社の川下における事業のインパクト】

◆川下の事業

	その他の非専門店小売業（4719）	
	ポジティブ	ネガティブ
水（可用性）		
食料		
住居		
健康・衛生		
教育		
雇用		
エネルギー		
移動手段（モビリティ）		
情報		
文化・伝統		
人格と人の安全保障		
正義・公正		
強固な制度・平和・安定		
水（品質）		
大気		
土壌		
生物多様性と生態系サービス		
資源効率・安全性		
気候		
廃棄物		
包括的で健全な経済		
経済収束		

【当社の川下における事業のインパクト】

ポジティブインパクト：「雇用」

「包括的で健全な経済」

ネガティブインパクト：「雇用」

川下の事業では倉庫の荷主であるその他の非専門小売業を記載している。

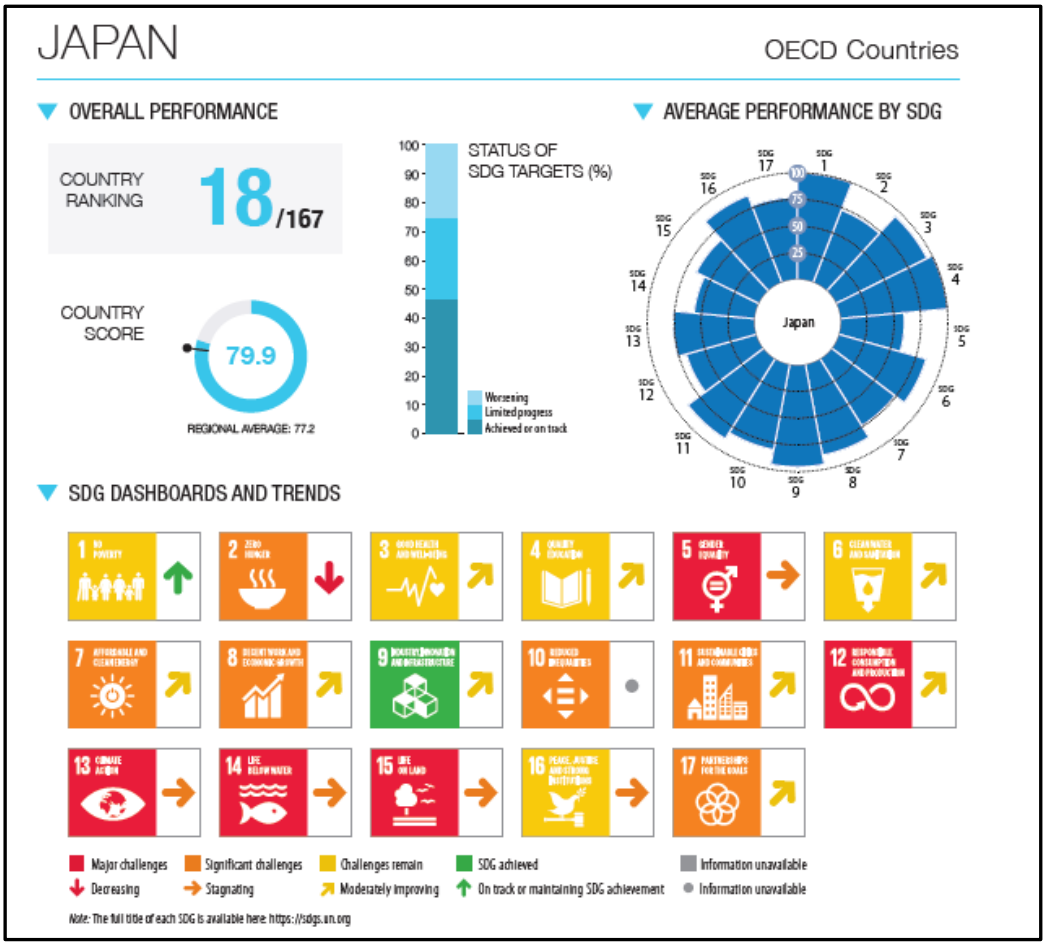
雇用面で当社が関与できる部分は少ない。

「包括的で健全な経済」に関して、当社は物流の効率化を進め、より速くより確実にお届けすることで地域の経済活動を支えている。

③国内のインパクトニーズ

下記に示したのは、「SDGs インデックス＆ダッシュボード 2024」を参照したものであり、「SDGs 達成を緑色」、「課題が残っている SDGs を黄色」、「重要な課題を橙色」、「主要な課題を赤色」としている。

「4.インパクトの特定」において株式会社あいち銀行が特定した福玉精穀倉庫株式会社のインパクトと対応する SDGs のゴール「**5、7、8、9、13**」について、多くが課題のあるゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズと整合的である。



特定したインパクトカテゴリー	対応する SDGs のゴール
雇用	5「ジェンダー平等を実現しよう」 8「働きがいも経済成長も」
エネルギー、気候	7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」 13「気候変動に具体的な対策を」
包括的で健全な経済	9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

④特定したインパクトに対する株式会社あいち銀行およびあいちフィナンシャルグループの方向性との確認

株式会社あいち銀行およびその親会社であるあいちフィナンシャルグループは、経営ビジョンのパーパスに「金融サービスを通じて、地域社会の繁栄に貢献します」を掲げ、その理念の下、事業活動を通じ「持続可能な社会の実現」と「当社グループの持続的な成長」を目指している。あいちフィナンシャルグループではサステナビリティ方針として「環境課題への対応方針」「社会課題への対応方針」「サステナビリティ推進体制」を定めており、上記分析で特定した福玉精穀倉庫株式会社によるインパクトは、あいちフィナンシャルグループのサステナビリティ方針と整合的である。

5．測定する KPI

①倉庫にプラスアルファの機能を持たせた「活きた倉庫」をより多くのお客様に

項目	内容
インパクトの種類	経済面でのポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリー	「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	
対応方針	・お客様のニーズを的確に把握し迅速に対応する ・倉庫にプラスαの機能を持たせた「活きた倉庫」を物流サービスの中核にする ・倉庫面積を広くすることで物流面から地域経済に貢献する
KPI・目標	① 2030 年 11 月期までに所有倉庫の営業総面積を 10%増加させる （2024 年 11 月期実績：17.4 万坪）

② 環境保全の推進

項目	内容
インパクトの種類	社会面でのポジティブインパクトを拡大 環境面でのネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリー	「エネルギー」「気候」
関連する SDGs	
対応方針	・倉庫屋上への太陽光パネル増設による、自社の CO2 排出量削減と地域の脱炭素化への貢献
KPI・目標	①2030 年 11 月期までに太陽光発電設備による発電容量を 3.5 メガワットまで高める （2024 年 11 月期実績：2.5 メガワット）

③ダイバーシティとワークライフバランスの推進

項目	内容
インパクトの種類	社会面でのネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリー	「雇用」
関連する SDGs	
対応方針	・従業員のワークライフバランス向上 ・女性が働きやすい環境の整備とキャリアアップ応援 ①社内相談窓口の設置、面談回数・時間の増加 ②定例営業会議にて従業員の残業時間を共有し、原因把握し対策を講じる ③有給奨励日の設定 ④産休・育休制度の社内周知 ⑤産休・育休制度の強化により女性社員の定着率向上を図る
KPI・目標	①2030 年 11 月期までに従業員の 5 年間定着率を 65%まで向上させる （2024 年 11 月期実績：55%） ②2030 年 11 月期までに従業員の残業時間を 17 時間／月に削減する （2024 年 11 月期実績：21 時間／月） ③2030 年 11 月期までに従業員の有給休暇取得率を 60%まで向上させる （2024 年 11 月期実績：47%） ④2030 年 11 月期までに産休・育休取得率を 100%にする （2024 年 11 月期実績：86%） ⑤2030 年 11 月期までに役職者に占める女性割合を 20%まで高める （2024 年 11 月期実績：13%）

６．インパクトの管理体制

福玉精穀倉庫株式会社は、最高責任者を社本社長として組織的にインパクトの管理体制を整備している。また、総務課を中心にサステナビリティ経営の充実に向けた施策の検討及び実施・検証する体制を構築している。

＜管理体制＞

最高責任者	代表取締役社長　社本　光永
担当部署	総務課

７．モニタリング方法

PIF で設定した KPI の進捗に対するモニタリングは、管理責任者であるインパクト管理部署と株式会社あいち銀行の担当部署（営業店および営業企画部ファイナンス戦略グループ）が年 1 回以上の協議にて確認する。

協議において、福玉精穀倉庫株式会社は設定した KPI の達成度について情報を開示する。株式会社あいち銀行は、達成度・進捗度を確認・検証したうえで、必要があれば KPI の修正を検討し、同社に対して適切な助言を行い支援する。

また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センター（R&I）による包括的な年次レビューを受ける。

８．総括

本件については、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」に準拠したファイナンスであり、福玉精穀倉庫株式会社の事業活動がポジティブインパクトの増大およびネガティブインパクトの低減につながることを確認した。また、KPI 達成に向けた取組みやモニタリングを通じ、持続的な ESG および SDGs への貢献につながる取組みであることを確認した。

以　上

R&I セカンドオピニオン

あいち銀行 ポジティブインパクトファイナンス

2025 年 3 月 31 日

福玉精穀倉庫株式会社

サステナブルファイナンス本部
担当アナリスト：安生　琢

格付投資情報センター(R&I)はあいち銀行が福玉精穀倉庫に対して実施するポジティブインパクトファイナンスについて国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)が制定したポジティブインパクト金融原則(PIF 原則)に適合していることを確認した。

R&I は別途、あいち銀行(旧愛知銀行・旧中京銀行)のポジティブインパクトファイナンス実施体制が PIF 原則に適合していることを確認している [1]。今回のファイナンスに関してあいち銀行の調査資料の閲覧と担当者への質問を実施し、実施体制の業務プロセスが PIF 原則に準拠して適用されていることを確認した。

あいち銀行が実施するインパクトファイナンスの概要は以下のとおり。

(1) 対象先

社名	福玉精穀倉庫株式会社
所在地	愛知県丹羽郡
設立	1948 年
資本金	8,370 万円
事業内容	倉庫業
売上高	3,911 百万円(2024 年 11 月期)
従業員数	36 名(2024 年 11 月時点)

(2) インパクトの特定

あいち銀行は対象先の事業内容や活動地域等についてヒアリングを行い、バリューチェーンの各段階において発現するインパクトを分析し、特定したインパクトカテゴリを SDGs に対応させてインパクトニーズを確認した。また、当社の事業活動が影響を与える地域におけるインパクトニーズとの整合性について、持続可能な開発ソリューションネットワーク(SDSN)が提供する SDG ダッシュボードなどを参照し確認した。

(3) インパクトの評価

あいち銀行は特定したインパクトの実現を測定できるようインパクトの内容を整理して KPI を設定した。ポジティブインパクトは SDGs 達成に寄与する取り組みとして追加性があると判断した。また、あいちフィナンシャルグループが掲げるサステナビリティ方針と方向性が一致することを確認した。

[1] 2022 年 7 月 13 日付セカンドオピニオン「愛知銀行　あいぎんポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制」
https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2022/07/news_release_suf_20220713_jpn_01.pdf
2023 年 4 月 21 日付セカンドオピニオン「＜中京＞ポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制」
https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2023/04/news_release_suf_20230421_jpn_1.pdf

株式会社格付投資情報センター　Copyright(C) 2025 Rating and Investment Information, Inc. All rights reserved.
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目２２番地テラススクエア　（お問い合わせ）サステナブルファイナンス営業部　TEL 03-6273-7408
セカンドオピニオンは、企業等が環境保全および社会貢献等を目的とする資金調達のために策定するフレームワークについての公的機関または民間団体等が策定する当該資金調達に関連する原則等との評価時点における適合性に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。また、R&I は、適合以外の事柄につき意見を表明するものではなく、資金調達の目的となる成果の証明、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、セカンドオピニオンに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、セカンドオピニオンに関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。セカンドオピニオンは、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき本稿末尾をご覧下さい。

① 倉庫にプラスアルファの機能を持たせた「活きた倉庫」をより多くのお客様に

インパクトの種類	経済面でのポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	
対応方針	・お客様のニーズを的確に把握し迅速に対応する ・倉庫にプラスαの機能を持たせた「活きた倉庫」を物流サービスの中核にする ・倉庫面積を広くすることで物流面から地域経済に貢献する
KPI・目標	① 2030 年 11 月期までに所有倉庫の営業総面積を 10%増加させる （2024 年 11 月期実績：17.4 万坪）

② 環境保全の推進

インパクトの種類	社会面でのポジティブインパクトを拡大 環境面でのネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「エネルギー」「気候」
関連する SDGs	
対応方針	・倉庫屋上への太陽光パネル増設による、自社の CO_2 排出量削減と地域の脱炭素化への貢献
KPI・目標	① 2030 年 11 月期までに太陽光発電設備による発電容量を 3.5 メガワットまで高める（2024 年 11 月期実績：2.5 メガワット）

③ ダイバーシティとワークライフバランスの推進

インパクトの種類	社会面でのネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
対応方針	・従業員のワークライフバランス向上 ・女性が働きやすい環境の整備とキャリアアップ応援 ① 社内相談窓口の設置、面談回数・時間の増加 ② 定例営業会議にて従業員の残業時間を共有し、原因把握し対策を講じる ③ 有給奨励日の設定 ④ 産休・育休制度の社内周知 ⑤ 産休・育休制度の強化により女性社員の定着率向上を図る
KPI・目標	① 2030 年 11 月期までに従業員の 5 年間定着率を 65%まで向上させる （2024 年 11 月期実績：55%） ② 2030 年 11 月期までに従業員の残業時間を 17 時間／月に削減する （2024 年 11 月期実績：21 時間／月） ③ 2030 年 11 月期までに従業員の有給休暇取得率を 60%まで向上させる （2024 年 11 月期実績：47%） ④ 2030 年 11 月期までに産休・育休取得率を 100%にする （2024 年 11 月期実績：86%） ⑤ 2030 年 11 月期までに役職者に占める女性割合を 20%まで高める （2024 年 11 月期実績：13%）

(4) モニタリング

あいち銀行は対象先の担当者との会合を少なくとも年に 1 回実施し、本 PIF で設定した KPI の進捗状況について共有する。日々の営業活動を通じた情報交換も行い対象先のインパクト実現に向けた支援を実施する。

以 上

【留意事項】

本資料に関する一切の権利・利益（著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、特段の記載がない限り、 R&I に帰属します。 R&I の事前の書面による承諾無く、本資料の全部又は一部を使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）することは認められません。

R&I は、本資料及び本資料の作成に際して利用した情報について、その正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

また、本資料に記載された情報の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報の使用に関連して発生する全ての損害、損失又は費用について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何や R&I の帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負いません。

セカンドオピニオンは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

セカンドオピニオンは、企業等が環境保全及び社会貢献等を目的とする資金調達のために策定するフレームワークについての公的機関又は民間団体等が策定する当該資金調達に関連する原則等との評価時点における適合性に対する R&I の意見です。R&I はセカンドオピニオンによって、適合性以外の事柄（債券発行がフレームワークに従っていること、資金調達の目的となるプロジェクトの実施状況等を含みます）について、何ら意見を表明するものではありません。また、セカンドオピニオンは資金調達の目的となるプロジェクトを実施することによる成果等を証明するものではなく、成果等について責任を負うものではありません。セカンドオピニオンは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。セカンドオピニオンは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&I はセカンドオピニオンを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&I がセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報は、R&I がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、R&I は、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&I は、セカンドオピニオン及びこれらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&I は、R&I がセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報、セカンドオピニオンの意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やセカンドオピニオンの使用に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むものとします）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何や R&I の帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。セカンドオピニオンに関する一切の権利・利益（特許権、著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、R&I に帰属します。R&I の事前の書面による許諾無く、評価方法の全部又は一部を自己使用の目的を超えて使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）し、又は使用する目的で保管することは禁止されています。

セカンドオピニオンは、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。

R&I の R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見です。R&I グリーンボンドアセスメントでは、グリーンボンドフレームワークに関してのセカンドオピニオンを付随的に提供する場合があります。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

R&I グリーンボンドアセスメントは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&I は R&I グリーンボンドアセスメントを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&I が R&I グリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報は、R&I がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、R&I は、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&I は、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&I は、資料・情報の不足や、その他の状況により、R&I の判断で R&I グリーンボンドアセスメントを保留したり、取り下げたりすることがあります。

R&I は、R&I が R&I グリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報、R&I の R&I グリーンボンドアセスメントその他の意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報や R&I グリーンボンドアセスメントの使用、あるいは R&I グリーンボンドアセスメントの変更・保留・取り下げ等に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むものとします）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何や R&I の帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。

R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。

【専門性・第三者性】

R&I は 2016 年に R&I グリーンボンドアセスメント業務を開始して以来、多数の評価実績から得られた知見を蓄積しています。2017 年から ICMA（国際資本市場協会）に事務局を置くグリーンボンド原則／ソーシャルボンド原則にオブザーバーとして加入しています。2018 年から環境省のグリーンボンド等の発行促進体制整備支援事業の発行支援者（外部レビュー部門）に登録しています。また、2022 年から経済産業省の温暖化対策促進事業におけるトランジション・ファイナンスの指定外部評価機関に採択されています。

R&I の評価方法、評価実績等については R&I のウェブサイト（https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html）に開示しています。

R&I は 2022 年 12 月、金融庁が公表した「ESG 評価・データ提供機関に係る行動規範」（以下、「行動規範」という。）の趣旨に賛同し、これを受け入れる旨を表明しました。行動規範の 6 つの原則とその実践のための指針への R&I の対応状況については R&I のウェブサイト（https://www.r-i.co.jp/rating/products/esg/index.html）に開示しています（以下、「対応状況の開示」という。）。

R&I と資金提供者及び資金調達者との間に利益相反が生じると考えられる資本関係及び人的関係はありません。

なお、R&I は ESG ファイナンスによる資金提供あるいは資金調達を行う金融機関との間で、金融機関の顧客に R&I の ESG ファイナンス評価を紹介する契約を締結することがありますが、R&I は、独立性を確保する措置を講じています。詳細は対応状況の開示をご覧ください。